

自然教育園の地衣類

柏谷博之*・G. トール**・文 光喜***

Lichens of the Garden of the Institute for Nature Study, Shiroganedai, Tokyo

Hiroyuki Kashiwadani*, Göran Thor** and Kwang-Hee Moon***

自然教育園にどのような地衣類が生育しているかを調べるため、1999年5月に現地調査を実施した。得られた約70点の標本を分類学的に検討した結果、14属16種を確認した。この内、*Bacidina chlorotricula* は日本新産である。

地衣類は一般に太陽光に恵まれ、風通しのよい環境を好んで生育する種群と逆に日陰で湿度の高い環境を好む種群に大別される。自然教育園産の種の内、*Graphis handelii* と *Physciella melanchra* 以外はどれも後者に属する地衣類である。従って調査地では陽地性の地衣類は公害などの生育環境の悪化に伴って陽地性の種が死滅し、樹林に囲まれ、比較的保護された環境に陰地性の種が生育していることがわかった。確認された地衣類は以下の通りである。

Agonimia pacifica, *Anisomeridium nyssaegfenum*, *Bacidina chlorotricula*, *Dimerella pinete*,
Endocarpon japonicum, *Graphis handelii*, *Lecanora japonica*, *L. pulverulenta*.
Lepraria cupressicola, *Micarea prasina*, *Physciella melanchra*, *Placynthiella icmalea*.
Porina sp., *Trapelia coarctata*, *T. placodioides*, *Verrucaria* sp.

この内、*Bacidina chlorotricula* は日本新産である。

* 国立科学博物館 植物研究部, Department of Botany, National Science Museum

** 国立スエーデン農科大学 生物保存学科, Department of Conservation Biology, Swedish University of Agricultural Sciences

*** 韓国淑明女子大学 自然科学研究所, Natural Science Institute, Sookmyung Women's University